国内外の旅日記出版

ミニコミ誌発行の養父・村上さん

但馬の秘境、中国など25編

2012. 2. 25

昨年秋に愉快な登山体験記を出版した養父市建屋の県教委嘱託職員、村上隆司さん(50)が、続編となる「ひまジャの旅日記・地の巻」を自費出版した。前作は登山の記録だったが、今回は旅行編。国内外を旅したエピソードが、ユーモアたっぷりに記されている。

村上さんはさまざまな日常体験をつづるミニコミ誌「なかよしひまじんジャーナル」（ひまジャ）を2カ月に1冊発行。1988年8月に創刊し、今月で107号に達している。その中から、よりすぐりの旅行記を25編集めた。

国内では北海道や東北を旅した話もあるが、但馬を舞台にした話も多い。香美町で「自己の限界に挑戦する3日間」というツアーに参加し、村岡区の長楽寺近くの高さ70㍍の橋からロープで下ったり、沢登りをしたりと、但馬の秘境を満喫。また、同町香住区の今子浦から日本海をシーカヤックで旅するツアーでは、外国船沈没による重油流出事故から1年以上たっているのに、重油が残る海岸を見つけたエピソードもある。

海外では中国の旅が多く、8編を掲載した。県の洋上大学に参加し、遅刻常習犯の女性参加者のお守り役を引き受け、振り回される連作が傑作だ。

最後の2編は東日本大震災被災地支援ボランティアに参加した経験をつづった。作業終了後のアンケートで「頑張っている被災者にさらに『頑張れ』と声をかけるのは気の毒」と悩むシーンなどは感慨深い。

村上さんは「天、地と発行できたので、人の巻も出したい」と話している。文庫判205㌻。1冊千円。村上さん☎0909・5090・2469

（三上彰規）

ミニコミ誌で書きためた旅行記をまとめた本「ひまジャの旅日記」を出版した村上さん＝養父市内

会員　村上さん　神戸新聞で紹介！

新春のつどいのご紹介コーナー

新春のつどい　～夢の実現に向けて～

但馬地区　こだわりの絶品　商品　なかよしひまじんの旅日記

但馬地区代表　村上　隆司さん
さまざまな日常体験をつづるミニコミ誌「なかよしひまじんジャーナル」を1988年8月に創刊し、以後2ヶ月に一回のペースで発行しています。
今回自費出版されたのは、紀行文の中からよりすぐった十四話を「なかよしひまじんの旅日記・天の巻」として出版後、新たに「地の巻」を発刊することになりました。

サイン会を行います

天の巻　　文庫版95ページ　1，000円

地の巻　　文庫版204ページ　1，000円

著者の紹介　別名、仲良しひま人、洋大ネームを大将と呼ばれています。大将とは裸の大将、つまり野に咲く花のような人柄から呼ばれるようになりました。　５０歳独身、性格良好、収入不多、閑時間多、好酒好遊、人畜無害、国士無双、可愛いがってやって下さい

２０１２年２月25日

神戸新聞より